

還暦女子の シングル生活スタート



いもねえさん

買いだめをする人々。

私の暮らす僻地では、品物が底をつくことは台風や船の欠航などでしばしばある。

今買いだめておかなければ、という危機感はない。

みんなそれなりに備蓄しているよ。

私の家などは10日~2週間ぐらいは平気だ。餅になったりするけどね。

今スーパーに行くとなしかに品薄で空っぽの棚はあるが。。。

パンはもう1週間以上入荷してないんじゃないかなー

でも、被災地に優先的にいっていると張り紙がしてあるので納得。

コンビニもないし毎日の食べ物はなんとかなっている、被災地の様子をみてごちそうを食べる気にはなれない。

東京に暮らす子供たちは、やはり店に何もないといっている。

水もチョロチョロと。

それでも、この地で育ったせい何か何とかやっているらしい。

小麦粉があればなんとかなる、米を求めて並ばなくても何とかなる、と。

新聞にはスーパーの開店前に米の整理券を求めて行列ができています、とあった。

みんな普段そんなにご飯を食べてるのだろうか。

ないとなればあるうちに買っておこうと思うのかもしれないのだが

極限で暮らす人たちのことを思うと、いまひとつ生活で工夫できないかと思う。

でも、あんなに揺れたら、次はここか、と思うじゃない、それもそうだ。

都会で地震が起きて、ゾロゾロと集団が山側へと歩きつつ、ドッグフードしか食べるものがなくて・・・という小説を読んだ。

怖〜っ。

ただただもくもくと歩く帰宅難民の姿を見たら、何も言えなくなってしまう。

が、今は少しガマンして、被災地にまわそう。

私たちはトイレもあるし、お風呂にも入れる。

そして少し落ち着いたら、それぞれ家にほんの少し備蓄するのがいいんじゃない？

もうちょっとのガマンだと思う。冷静に。極限状態の被災者を救いたい。

買い物のたびにおつりの小銭を募金箱に入れる。

でも、今回はお札が多い。1万円札もみえた。身震いしてしまう。

頑張れって言わないで、と。

もう、今は生きていだけで十分頑張っている、
これ以上何を頑張ればいいのか、と。

何かボランティアはできないかと思うけれど、ボランティアの受け入れ態勢すらまだ整っていないとの報道がある。

一方で、どんどん自分たちでやり始めた地域もあるとの報道もある。

日本人は秩序があり、冷静といわれていたが、新聞にはやはり、こんな時に義援金の詐欺やら、半壊の店から物が盗まれて困っているとあった。

こういうの、やりきれない。でも生きるためには仕方がないのかも。

現地の人を見て見ぬふりもすると。

このままでは餓死しかねない地域もあるという。

物資はどこで滞っているの？

末子の巣立ち

末子が巣立った。

離島なのでそうそうは帰ってこれない。見送り風景も独特だ。

今年は地味だ。

もっと胸をはって堂々と送り出したいところだけど、

出発まで、ごちそうを作ってやりたかったけれど、日に日に食材がスーパーから消え。。

物が品薄とか、停電とか、地震とか、放射能とか、そういう所へ送り出すのも複雑な気持ち。

見送る親たちも、心配だけど、、、仕方ないよね、、、

こちらは水はとってもおいしいのに、本数制限の水を買うのかなあ。

大学の入学式も中止になった。

ネットで注文した布団も届くのが遅れ、1週間は寝袋生活になる。

でも風呂、トイレがあるだけいいじゃない、、、

初めての一人暮らし、不安だろうに、さらに不安だろうな、でも仕方がない。

今は皆こんなはずじゃなかった、と思っているだろう。

やっと就職が決まったのに自宅待機の人とか取り消しともかあるようだ。派遣切りも。

避難所生活の方を思うと何も言えない。

元気でやってね、が精一杯だった。

4人の子供と私、5つに分散し、私も又一人暮らしのスタートだ。

原発どうする。。。。

私は総理大臣はオバマさんにやってもらいたい、と言った。

姉は、その部分に対してはどうしても返事をしない。

原子爆弾を投下したのはアメリカだという気持ちがあるのだ、許せないのだ。

原子爆弾を投下された広島之地。

100年は草木ははえんじやろう、と言われた。

その後、日本の復興はすさまじかった。

何の情報もないまま、焼け野原の整理作業をし、残留放射能をいっぱい浴びた両親。

姉は私より2歳上の団塊。私より2年早い記憶があるのだろう。

私でさえ、ほこりっぽい、整備もされていない、道のような道でないような、自分で建てたような小屋とか、記憶にあるぐらいだから、姉はもっともっとその前の様子を知っている。

休みが続いたと思ったら原爆症で亡くなられた先生もいた。

姉の友人は両親が原爆にあったということで、関西の方との結婚が許されなかったと。

放射能に敏感に反応するのは当たり前だ。

姉は遠い広島之地にしながら、被災者が希望すれば家に受け入れるつもりだと。

そして、原発のことをとても心配している。

関東に暮らす私の子供のことも、放射能は大丈夫かいねえ、、、と。

広島、長崎の人は、この原発の行方をとても心配している。

原発事故に関してはアメリカが主導権をもちつつある、と新聞にあった。

海水を真水にするよう指摘したのもアメリカだと。

アメリカはたくさんの資料をもっているのだと思う。

暗い日々だ、毎日、新聞の一面は原発だ。

健気に復興をすすめる人々がいる反面、どうしても原発の行方が頭から離れない。。。。。

日本人はこわれなかった。

今でも行方不明者が1万人を超えている。

両親がみつからない中、避難所生活を送る子供たちも大勢。

もう、やりきれない思いだ。

戦災孤児という言葉がある。

私の育った市営住宅の近くに修道院というのがあって、そこは原爆により親を亡くした子供たちが大勢暮らしていた。

小学校にも中学校にもそこから通ってくる同級生がいた。

みんなと普通に過ごすように親に言われていたし、当時は何のことかもよくわからず普通に過ごしていた。

私の時代はまだ中学卒業時、就職か進学かの選択があった。

団塊に次ぐ世代で、人数が多い分、競争も激しくて中学時代は五教科が能力別授業だった。

毎時間カバンを持って教室を移動した。

その子供たちはほとんどが就職でいつのまにか学校でも疎遠になっていった。

どんな子がいたのかさえ思い出せない。

自分の進路しか考えてなかったんだなー。

今は、あの頃とは違う。

やりたいことをやれる環境を子供たちには保障してあげたい、大人の責任で。

私が幼い頃、飛行機が低空飛行をして音をたてる度に、祖母は「又、ピカ（原子爆弾）かのう、、、」と言っていた。

明治生まれの祖母だ、その恐ろしさは消えなかったのだろう。

そして私たち孫は、その言葉を聞くたびに怯え、祖母にしがみついた。

ズーっと、ズーっと尾を引くのだ。

今思えば、岩国基地にもどる米軍機だったのだろう。

地震被害、原発被害の子供たちも大人もズーっと、ズーっと尾を引く。

十分な正しい知識とケアを、大人の責任でやっていかねばならないと思う。

終戦の時には原子爆弾投下の広島、長崎だけでなく、東京の大空襲も、日本中がメチャメチャだった。

今は違う、首都はまだ健在だ。国会も機能している、頼りないが、、、、

今回の地震で海外のメディアが伝える日本人のすごさをあらためて考えると身震いする。

毎日毎日伝えられる善意。

日本のシステムはこわれたけれど、日本人はこわれなかった、これほどまでの事が起きたにもかかわらず、

日本人はこわれたい、と。

それこそが日本の強さなのだ、と。

でもガマンにも限界はある。

冷たい雨の中、3時間もスーパーの外で並ぶ方々。支援物資はどうなってるの？流通はどうなってるの？

で、政治家って今、何してるんだらう、メディアはそこも伝えてほしいなあ。。。。

何をしているのかが見えない。一人300万円出すことが決まったけど、決まる前に自分で出そうよ。

いかにもしぶしぶという感じにしかみえないよ。

次の選挙の参考になるように。今何をしているのかメディアの方は伝えてくださいますか。

今私がやることは。

還暦女子だということに、落ち着きのない私だをつくづく思う。

私にできることはないのか、還暦シングル、身軽だ。末子も巣立った。

持病はあるけれど、ボランティアには行けるかも。

炊き出しもおむすびもできる。

いろいろネットで調べた。

看護師ではあるものの災害救助認定看護師でもないし、そもそもフリーではどうしようもない。

体力もない。

ころんだりして、ジャマになるだけだ。

長いスパンで考えもう少し状況が落ち着いてからだ、長い時間を要するだろう、その時かな、出番は。

だからその時まで元気にしていることかな。

買いだめすることなく、今までどおり質素に、普通に暮らすことが今私がやることかも。

出番がくるまでじっとしていよう。団塊、還暦の召集がかかったらいつでも行ける様に。

背中をさすって寄り添うことしかできないかもしれないけれど。。。

シングル生活はスタートしたものの。。。

一人暮らしになって初めてスーパーへ行ってみた。

まだ何にもないよ、とは聞いていた。

ガラ〜ン。

お菓子の棚、何にもない。

異様な感じ。まるで閉店セールみたい。船の欠航が続いてもここまでひどくはない。

食べざかりの子を持つ親は困るだろうな。

ないね、ないね、と言いながらも結局なんとかなっている、島の生活。

結局、飴玉と生クリーム、ひき肉、玉ネギというつじつまの合わないものを買って終わり。

いただいたリーフレタスがいっぱいある。

外に出れば、山菜もある。今の時期いろいろあるねえ。

後でやる気になったら肉だんごを作って冷凍しておこう。

お店で会った同年代の方と、私たちって調味料があれば何とかなるわよね、そうそう。

お一人様気分で、本を読みながらケーキセットを食べようと思いお店に行ったけれど、満車だった、ということは

本を読む雰囲気ではないな、と思ってあきらめた。

ガーデニングのオシャレなお店でお花の苗を3鉢買った。

こんな気持ちのパツとしない日が続くと、お花を植えたくなるみたいねー、私もそう、とそこの女性店長。

ニュースも新聞も、気が滅入ってね。。。。

せめて私たちが元気にしてないと。

、、、で、どうすればいいの？

もう新聞の一面は原発一色だ。

4月、新しいスタートになるはずなのに。

閣僚が作業着からスーツに変えても。。。

ますます収束に向かわない原発。

フランスから、アメリカから、最強の軍団が支援協力を来日と。

もうこの原発の災害は地球規模のものなのだ。

世界がこの行方を見ている、心配している。

多くの研究結果を出し寄って地球汚染を最小にしてほしい。

目にみえないからこそ、恐ろしい。

これからの世代に申し訳ない。

自分だけが助かるなんていう規模の問題ではないのではないですか？

地震、津波という自然災害には、日本は必ず復興すると思う。

が、原発事故を前にして、とても暗いものがのしかかる。

、、、で、どうすればいいの？

政府を信じて毎日の生活を普段どおりに行っていればいいの？本当？

節電して、買いだめしないで。落ち着いて暮らす。。。

それしかないか。。。

あまりにも自粛していると経済がまわらない、それもわかる。

けれど、強制されているわけではなくその気にならないのですよ。

どうやって経済をまわすかということも考えないと。

でもその前に、原発の不安をとりのぞいて下さい。

ささやかな活気！

NPOの作業所で週2回、お昼のランチレストランをやっている。

私はパートで。

小さい地域なので、30食だけ。1000円。

このところ満員御礼の日が続く。今日もやむなくお断りした方があり申し訳なかったが、この数で精一杯。

今日は、12時スタートなのに、15分で30席うまっと。

前日の作業で作ったクッキー、マドレーヌ、手作りこんにゃくも完売した。

今日は早朝からパンも焼いて販売した。これも完売。

暗いニュースばかりの中、お食事を食べて笑顔をいただけるなら、かかわっているパートとしても嬉しい。

私はデザート担当。先日メンバーとヨモギを摘んで冷凍していたのを使って草だんごにした。あんこをかけて。

震災ニュースで春の訪れを忘れかけていた、でもしっかりヨモギは新芽を出していた。

レストランの中はむんむんしていた。

ささやかな活気、天気もよかった。

被災地にもこういう日が一日も早く訪れますように。。。。。

新規採用、還暦の退職

4月1日は辞令をもらって仕事を始める若い方々、ういういしい、、、ガンバレ！

そして、私の同級生の多くは、60歳と同時に、又は昨日をもって退職、という人も多かっただろう。

みんなご苦労様でした。

ただ、今は、一人だけ気楽になった、バンザイーという心境にはなれないよな。

ま、これもめぐりあわせた運命だ。同級生はみんなそうなんだ。

私は早期退職をしてブランクの後、かけもちパートの身なので、この節目を全く人ごとのように感じていた。

定年退職をして今感慨にふけている人、今日から毎日が日曜日の人、嘱託になった人、いろいろだろうなあ。。。

これからどうやって過ごす？

まだ若いよ、私たち。

若い音楽グループがどんどん義援金を送っている。

たいしたものだと心から思う。

体力がないと思っていたけれど、今回の地震で、血がさわぐ、という言い方は大げさで不適切かもしれないけれど、

私は大人の責任で、何かをしなければいけないような気がしている。

きっと同世代はそう思っていると思うんだけど。。。

オヤジバンドもそろそろ動く時だろう。

ねえ、私もさそってね。動く準備を始めるから。

保健所便りに出ている、空の巣症候群。

子供が巣立って行って、やる気をなくしてしまって落ち込んで、不眠症とか、、、
40代～50代の女性、抑うつ状態、、、

うーん、末子が巣立って一人暮らしになったけど、どうもピンとこないな。

人によるんだろうね。

更年期もなかったようだし、還暦になった。

あとから、だんだんジワリジワリやってくるのかなあ。

ただ、どんどん身の回りの整理を始めないと一、とは思う。体力があるうちに。

ロフトに上れるうちに。

ゴミの日には東京都推奨袋で一つはゴミを出すことを心がけよう。物を処分していかないと。

地域にお世話になり、その時には人口を増やしたけれど、結局次々に皆巣立っていった。

年老いた私だけが残り、この島の平均年齢を上げてしまった。

おそらく誰ももどって来ない。ここには仕事がないもの。

きれいな空気と水だけでは生活できない。自然と暮らすような子供たちではないようだ。

そして、私も感じる何よりのもの、それは「よそ者」。

私も若かったら多分、ここでは暮らしたくない。正直すぎて申し訳ないのですが、、、

節電！

かつて4人の子供と暮らしていたこの家。

一人暮らしになった今、節電とは。

お米を炊くのは週3回ぐらいで、小分けして冷凍する。

図書館で借りた「今日は冷凍の日」。

そうだ、この工夫だ。春巻きを10本作って冷凍しておけばいいのだ。

今日は早速モチ米を入れて五目ご飯にして三合炊いた。

これも小分けして冷凍だな。

夜はまだ寒いので早くに布団にもぐりこんで本を読む。

私が居る所にだけ電気がつく。

つまり、ベッドの柵につけたスタンドの明かりだけが夜の照明なのだ。

外から見たら気味が悪いだろうなー。

あくびの出る年代ってあるのかな？

1年前から睡眠剤を処方してもらって睡眠にはいつている。

最初は眠くならないし、人生を得した気分でした。

起きている時は気分はハイで、モーローとした気分というのはなかった。

でもやはり、それではダメだった。

睡眠は必要。

職場の若い彼がやたらとあくびを連発する。

5分に一回、いや3分に一回だな。

話の途中にも大あくび、その時はあくびが終わったら続きを話すね、と意地悪く。

あくびって最近縁がないな、と思う。

脳が活動していないのかなあ。。。。

眠いとか、こっくりこっくりするとか、考えたら、ない！

体が疲れて横になる、でも眼だけはさえている、その辺の新聞に手を伸ばしたり、雑誌をみたり、、、

なんかうらやましいな。。。。あんな大あくび。